

## 第40回 南木曾町リニア対策協議会 開催

第40回南木曾町リニア対策協議会が1月18日に南木曾会館で開催されました。

今回の協議会は、JR東海等事業者が参加しない形で開催し、対策協議会の進め方及び当面の課題（水資源、町内の発生土置き場候補地）について、協議を行いました。その中で、対策協議会の進め方については、これまでの協議会で決められてきた方針で今後も進めていくことを確認しました。

※協議会当日の説明資料は、町のホームページをご覧ください。



### ① 対策協議会の進め方について

対策協議会は、これまでの協議会において、状況、課題等にに応じて協議し、進め方を確認してきました。町内での掘削開始や複数の発生土置き場候補地がJR東海から示されるなど、工事が本格化してきた状況を受け、改めて今後の進め方について、協議しました。概要は次のとおりです。

- ・ 確認書や協定書の締結に向けて、JR東海と町との事務協議により素案を作成し、対策協議会に諮る。確認書等の締結後も必要に応じて、見直しを行う。
- ・ 発生土置き場等の工事計画等については、計画案についての地元了解や各種法令上可能であると見込まれる段階で対策協議会へ報告する。

委員からは「地元了解の判断がJR東海の恣意的であり、説明不足である」「委員を充て職ではなく、長く続けられる人や若い人を各地区から出してはどうか」「協議会の開催数を増やし、協議の場を多く設けてほしい」など様々な意見をいただきました。

ました。事務局でいただいた意見を集約し、協議会に戻していきます。

### ② 当面の課題について

当面の課題として、水資源（水道水源予備的措置）及び町内の発生土置き場候補地について、町から情報共有を行いました。

予備的措置については、妻籠、向ヶ原、大山高区の3水源の管路接続を施工し、万が一、妻籠水源が減水した場合には、他の水源からの給水が可能となりました。今後の計画については、当初資材準備のみだった床浪本谷代替水源等の準備工事が、JR東海と町との協議により、施設整備、管路接続工の仮設工事として施工することとなりました。

発生土置き場候補地については、現時点でJR東海から示されている候補地について、改めて確認しました。各候補地については、JR東海が設計を進めており、それが完了次第、地元説明会が開催される予定です。

### その他

令和5年11月22日、尾越JV主催の中央新幹線、中央アルプストーンル（尾越）安全祈願式に町長、地元

地振会長・議員ら町関係者が出席しました。式にて町長は、「トンネル内の工事を安全かつ計画通りに実施するとともに、トンネル外の発生土置き場や工事用車両の通行、水資源等でも住民が安心して見守れるように事業を実施してもらいたい」と挨拶を述べました。

また、同12月17日には、第38回対策協議会において委員より提案のあった発生土置き場候補地（押出北）の現場視察を実施しました。



左：押出北視察、上：安全祈願式

